

# アンドレイ と 悪い言葉

ジュリー・C・ドナルドソン

本当にあったお話をもとに書かれました。

「くい改めて、もっとよくなって、いのります」

(『子供の歌集』[英語] 98)

「自分はらんぼうな言葉を使わないから、みんなよりえらいと思ってるだろう。」休み時間にニコライからそう言われて、

「そんなことないよ」とアンドレイは答えました。

「じゃあ1回くらい、悪い言葉を書いてみるよ。1回くらいならいいだろ。何も変わらないさ。

みんな使ってるんだから。」

アンドレイはかたをすぼめて、

「ぼくはただ使いたくないんだ」と言いました。

アンドレイは神様のみ名

をきずつけるようならんぼうな言葉を使うのは間違っているし、せいれいを遠ざけてしまうと知っていました。アンドレイはせいれいとともにいた

だきたかったので、らんぼうな言葉を使いま

せんでした。

アンドレイは転

校したばかりで、

6年生のクラス

でアンドレイと

友達になりた

いのはニコラ

イだけでした。

でも、ニコライ

は毎日毎日、ら

んぼうな言葉

を使うように言っ

てきました。アンドレイは

毎日毎日、いやだとい

うのが面倒になっ

てきました。それに、ニコライが



友達でなくなってしまって、自分は一人ぼっちになってしまうのが心配でした。

放課後、「1回でいいかららんぼうな言葉を書いてみるよ」と、ニコライが

言いました。「それしたらもうほうっておいてやるよ。」

アンドレイはうるさく何度も言われるのがいやになってしま

い、1回だけらんぼうな言葉を使っただけで、それほどひどくない言葉を。

ニコライはうなずきながら、「よし、これで仲間だ」と言いました。

それからというもの、ニコライのほかの友達もアンドレイに話しかけるようになりました。休み時間にはア

ンドレイと一緒に昼ご飯を食べたり、

フットボールをしたりするようになりました。でも、ニコライの仲間と一緒にいるのは、砂地獄に足をふみ入れるようなものでした。みんなと付き合えば付き合うほど、みんなと同じように話したり行動したりするようになりました。それに全員がらんぼうな言葉を使いました。それもたくさん。おたがいにあざ笑い、ぶじよくし合っていました。先生について、ひどいことを言いました。おこって意地悪なことをたくさんしました。ゆっくりと、アンドレイは前よりもよくおこるようになり、いろいろな理由を見つけては、神様のみ名をきずつけるような、らんぼうな言葉を使うようになりました。

あるばん、お父さんとお母さんが出かけているとき、アンドレイとお姉さんのカーチャがどの番組を見るかで言い合いになりました。アンドレイが考える間もなく、らんぼうな言葉が思わず出てしまいました。

カーチャはショックを受けた様子でした。「お母さんに言うわ。」

アンドレイは自分の部屋にかけて行き、ドアをバタンとしました。みんなどうしたのでしょうか。なぜいつもアンドレイをおこらせるのでしょうか。両親が帰って来たとき、アンドレイがドアをいきおいよく開けると、カーチャが「お母さん、アンドレイったら、わたしにらんぼうな言葉を言ったのよ」と言う声が聞こえました。

「何ですって？」お母さんは、おどろいた声で言いました。「アンドレイは、そんな言葉は使わないわ。」

アンドレイはドアをしめ、ベッドにぼったりとおれこみました。らんぼうな言葉を使い始めてから、自分がどれほど変わってしまったかについて考えました。もう長いこと、せいれいを感じなくなっていました。


アンドレイはベッドの横にひざまずいていのりました。「愛する天のお父様、今まで意地悪でおこってばかりでほんとうにごめんなさい。神様のみ名をきずつけるような、らんぼうな言葉を使い始めてごめんなさい。もっといい子になります。」

アンドレイがいのると、温かい気持ちが心にあふれました。らんぼうな言葉を使い始めてから初めて、ほんとうの幸せを感じました。神様が自分を愛しておられることがわかり、せいれいを感じることができました。ゆるされたと感じ、自分は変えられるし、良くなれると分かりました。

いのった後で、アンドレイはお母さんにほんとうのことを話し、カーチャにあやまりました。それから、アンドレイは気分が良くなりました。くい改めるのは気持ち良いことでした。



次の日、学校でアンドレイはニコライの仲間と昼ご飯を食べませんでした。その代わりに、知らない友達のとりにすわりました。時間はかかるでしょうが、自分と同じような、らんぼうな言葉を使わない、幸せな、良い友達を見つけられると知っていました。このお話を書いた人は、アメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。



## チャレンジ

「わたしは天父とイエス・キリストのみ名を尊びます。わたしは神のみ名を汚したり、らんぼうな言葉づかいをしたりしません。」(わたしの福音の標準)

紙の片面に、良い言葉を使ったり聞いたりすると、どのような気持ちになるかを文章で書いたり、絵でかいたりしてください。そのうらに悪い言葉を使ったり聞いたりするとどのような気持ちになるかを文章で書いたり、絵でかいたりしてください。

レビ 19 : 12 を読んでください。天のお父様とイエス・キリスト様のみ名をそんけいの気持ちで使うことはなぜ大切なのでしょうか。

親や指導者に、なぜ良い言葉を使う必要があるのか、またどのような祝福を受けてきたかを聞きましよう。

わたしの目標は、  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
です。